

## 1. 教育目標

- (1) 人権尊重の精神に則り自他を敬愛し、民主的で平和な社会の実現に貢献できる人材を育成する。
- (2) 自主・自立・協調の精神、豊かな情操をもち、「生きる力」を備えた人材を育成する。
- (3) 生徒の能力・適性・興味・意欲・関心・進路に応じた知識や技能の習得を通して望ましい職業観や勤労観をもち、社会人即戦力として通用する人材を育成する。
- (4) 生徒の自己実現を的確に支援し、高い目標と志をもち社会で活躍できる人材を育成する。

## 2. 目指す学校

### 【スクールミッション】

民主的で平和な社会の実現に貢献する人材、「生きる力」を備えた人材、基礎学力を身に付け英語・簿記会計・情報処理のビジネス三言語を活用できる人材、自己実現に向けて努力し国際社会に羽ばたく人材を育成することを目指し、商業教育を核とした教育活動を通して、社会人基礎力を備えた生徒を育成する。

### 【スクールポリシー】

#### (1) グラデュエーション・ポリシー

将来の自己実現に向けた高い志と目標をもって、知識や技術の習得を目指し、学ぶ楽しさと学ぶ意欲に溢れ、望ましい職業観・勤労観・社会観をもった生徒を育てる。

#### (2) カリキュラム・ポリシー

- ① 1年次に「ビジネス基礎」「簿記」「情報処理」の3科目を設置し、ビジネスの基礎・基本を身に付ける。
- ② 2・3年次に多様な商業選択科目を設置し、将来の進路や自らの興味・関心に応じて選択できるようにする。
- ③ 様々な検定や資格取得に取り組む科目を設置し、希望進路の実現と社会人としての適性を高める。
- ④ 「英語コミュニケーションⅠ」「簿記」「ビジネスアイデア」「財務会計Ⅰ」等で少人数授業を実施する。

#### (3) アドミッション・ポリシー

- ① 商業高校としての本校の教育内容を理解し、目的意識をもって、入学を強く希望する生徒
- ② 商業科目やコンピュータ利用に興味・関心があり、これらに関する検定・資格の取得に意欲的な生徒
- ③ 各種の検定・資格の取得に熱心に取り組んできた生徒
- ④ 生徒会活動、学校行事、ボランティア活動、部活動等に積極的に取り組み、入学後も継続していく意欲のある生徒
- ⑤ 自分の可能性を最大限に引き出し、理想や夢をかなえようと努力する生徒

## 3. 中期的目標と方策

### (1) 学校経営（学校運営）

- ① 組織的・計画的なOJTを実施して全教員で課題を共有し、課題解決に向けて校内組織の活性化を図る。
- ② 学校内外の募集対策事業や、中学校からの要望に応じた出前授業に積極的に取り組み、本校の教育活動を効果的に発信して入学希望者の増加に努める。
- ③ 令和7（2025）年に実施する創立120周年記念事業に向けて、生徒の発表活動を充実させる。
- ④ 「学校における働き方改革推進プラン」に基づき、職務の効率化を進め、教職員のライフ・ワーク・バランスの推進に努める。

### (2) 学習指導

- ① 基礎的・基本的な知識や技術を確実に定着させ、分かることの喜びを体得し、生徒が自主的に学習する

態度を育成する。

- ②企業や地域と連携した学習を展開し、実践的・体験的な学びを推進する。
- ③ユニバーサルデザインに基づいた授業づくりを推進し、授業環境を整備する。
- ④生徒による授業評価を効果的に活用し、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて授業改善に取り組む。

### (3)生活指導・進路指導

- ①実社会のビジネスに触れながらキャリア教育を推進し、望ましい職業観や勤労観を育成する。
- ②生徒の希望進路実現に向けて、全教員で組織的に支援する。
- ③都立学校生活指導方針に基づき、生徒・保護者との共通理解を図りながら生徒の規範意識を醸成する。
- ④人権尊重の視点から、多様性を認め、思いやりのある生徒を育成する。

### (4)特別活動・その他

- ①部活動の活性化を図り、共通の目標に向かって努力する過程を通して、生徒と教職員の信頼関係を育む。
- ②学校行事を充実させ、生徒の自主性や創造性を育み、帰属意識を高めさせる。
- ③地域貢献や地域社会との連携を積極的に行い、社会に開かれた学校づくりを推進する。
- ④心身の健康の保持・増進を図るために必要な取組を実施し、生徒自らが健康・安全を自主的に管理する態度を育む。

## 4 今年度の取組目標と方策

### (1)学校運営

(目標) 様々な施策を効果的に実現するため、組織体制の構築を行う

- ①募集対策活動・広報活動を充実させ、入学者選抜（第一次募集）で適正な倍率を確保する。
- ②生徒等の個人情報等を適切に管理・運用するため、「保有個人情報安全管理基準」等の規定を遵守し、教職員の意識を高めさせながらサービス事故ゼロを目指す。
- ③地域と連携し、学校開放事業により社会に開かれた学校づくりを推進する。
- ④同窓会・PTAと連携し、地域主催の行事に積極的に協力するとともに、創立120周年記念事業に向けた準備体制を構築する。
- ⑤企画調整会議を学校運営の中核として機能させるとともに、予算調整会議を充実させて予算執行の進捗管理や施設・設備の維持管理を的確に行う。
- ⑥ライフ・ワーク・バランス等を推進するため、業務の平準化に努め、特にホームルーム担任の負担軽減を図り、分掌間の格差を解消する。
- ⑦施設改修に当たっては、本校の教育活動が効果的に最大限に機能できるよう、綿密に職員間の情報共有を図る。

### (2)学習指導

(目標) 生徒の資質・能力の向上を目指し、興味・関心・意欲に応じた指導を適切に実施し、基礎学力の充実を図る。スクールポリシーを踏まえ、「基礎」を確実に身に付けさせる。

- ①生徒が分かる授業を目指して、ICT機器やスマスク端末の活用、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の手法を取り入れて授業改善を図る。
- ②生徒の学力向上を図るため、自主的に学習する意識や態度を育み、家庭学習の習慣化・定着化を図る。
- ③年間指導計画、週ごとの指導計画に基づいた適切な学習目標の設定、意図的・計画的な学習指導、観点別学習状況評価の検証と改善を行い、充実を図る。
- ④生徒の特性や障害の状態に応じて、合理的配慮や個別指導計画を基にした支援を組織的に実践する。
- ⑤生徒の社会貢献への意識と資質を高めるため、教科「人間と社会」では、探究的な学びを通じて、課題発見能力や課題解決能力を育む取組を行う。

⑥図書室の活用や長期休業中の読書指導を推進する。

### (3)進路指導

(目標) すべての生徒の進路実現と将来の自己実現に向けた指導の充実

- ①3年間を見通した進路指導計画を策定し、全教職員が一体となって、生徒の進路意識の啓発と希望進路実現に向けた指導の充実を図り、企業が求める人材を育成する。
- ②一年次からのキャリア教育を充実させ、外部団体との連携を通して、卒業時まで意図的・計画的に社会に貢献できる人材を育成する。
- ③キャリアパスポートを活用し、資格取得の状況や学校行事、部活動での生徒の取組を自己評価により記録する。
- ④大学、企業、地域との連携を積極的に進め、生徒の進路に対する意識を高めさせる。

### (4)生活指導

(目標) 社会人としてのマナーについての理解を深めさせ、TPOに応じた適切な判断ができる生徒を育成する

- ①全教員により、すべての教育活動を通じて生徒の基本的な生活習慣の確立に向けて組織的に生活指導に取り組む。
- ②挨拶の励行、制服の正しい着用、頭髪や身だしなみ指導、遅刻指導、授業規律の確保に取り組む。
- ③セーフティ教室、防災訓練等を活用し、生徒の安全教育や学校の安全管理体制を徹底する。
- ④自転車通学者の安全確保のため、交通ルールやマナーの指導を充実させる。

### (5)特別活動・部活動

(目標) 生徒との信頼関係に基づき、組織的・計画的な指導を行い、いじめ・体罰を根絶する。

- ①体育祭、文化祭をはじめ、様々な学校行事の充実と活性化を図る。生徒の主体的な活動を支援し、自律した行事運営ができるよう指導する。
- ②いじめアンケート、体罰調査を実施し、組織的な情報共有を通して、いじめの未然防止・早期発見・早期対応と体罰の防止を図る。
- ③部活動は、週当たり2日以上以上の休養日を設ける。

### (6)健康づくり

(目標) 健康に過ごしていくための意識啓発と環境づくりの実施

- ①保健室の機能を充実させ、学年やホームルーム担任との連携を図り、生徒の健康の保持増進を図る。スクールカウンセラーと連携して生徒の心身のケアに努め、生命に関する事故防止を図る。
- ②新型コロナウイルス感染症の感染防止に向けて、統合型学習支援システムを活用し、家庭と連携して生徒の体調管理に努める。
- ③「TOKYO ACTIVE PLAN for Students」に基づき、必要な取組を実施し、生徒の基礎体力向上を図り、健康的で活動的な生活習慣の形成を図る。

### (7)募集対策・広報活動

(目標) 本校の教育活動を広く発信し、地域に信頼され、求められる学校を目指す

- ①中学校への出張授業や進路説明会、本校で実施する学校説明会等での伝達内容やプログラムを充実させ、中学生及びその保護者、中学校教員、学習塾関係者への情報発信を効果的に行う。
- ②本校の教育活動を適宜効果的に発信し、学校広報の充実を図る。

## 5 重点目標と方策

### (1)募集対策のための取組

- ①地域行事への生徒の参加、生徒・教職員による中学校や学習塾への訪問を行い、商業高校の特色、本校

の教育活動やキャリア教育における有利性を広く地域や中学校の生徒・保護者・教職員にアピールする。

②学校ホームページ等により、本校生徒の活動を中心に様々な情報発信を行う。

③意欲のある生徒を確保するため、特色ある教育活動を発信するための効果的な手段を検討する。

(2) 生徒の進路実現のための取組

①進路指導部を中心に全教員で面接指導に取り組む。

②朝学習の実施や普通教科を中心とした基礎学力の定着により一般常識力の指導を強化し、採用試験や上級学校進学対策を行う。

③検定合格に向けての指導を通じて、情報処理検定3級75%以上、簿記検定3級85%以上、全商英語検定3級70%以上の合格率達成を目指して取り組む。さらに、生徒の進路・能力・適性などに応じて、より高度な資格や社会の実態に即した資格の取得を目指した指導を行う。

(3) 規律ある学校生活に向けた取組

①全校を挙げて、服装・頭髪・身だしなみ・言葉づかい・挨拶・授業規律などに対して注意・指導を励行する。

②登校時間や授業開始時間を守らせ、遅刻のないけじめのある学校生活を送らせる。